



平成25年度皇學館おかげキャンパスプロジェクト報告書

教員名：齋藤 平・櫻井 治男

分野：歴史・伝統文化・異文化、こども・子育て・教育・生涯、健康・福祉、地域づくり・公共・環境、人材育成等の活動、連携協定に基づく事業（ ）、その他（ ）

項目名	内 容
計画名	松木時彦『神都百物語』を読む会
実施期間	平成25年4月1日（金）～平成26年3月31日（月）
活動の目的と計画	<p>本会は、伊勢市の歴史・文化を学び、過去と現在の比較から、未来に向けた町のありかたや私たちの暮らしの幸せを実感できる町づくりを考えることを目的としている。</p> <p>【活動内容】</p> <p>【計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①定期的勉強会の開催。（平成26年3月現在で通算第22回実施） ②勉強成果の取りまとめと年報類の編集刊行（準備）。 ③学生会員の更なる拡大。 ④将来における野外巡検の準備。 <p>【期待される成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①勉強会を通し本学メンバー、神宮職員、市民が新たな交流の機会を創出できること。 ②勉強会を通して知りえた情報を共有し、更なる伊勢発見の契機となること。 ③本学が目指す、地域との交流を具体的に展開できること。 ④伊勢を他者に語る知識を蓄えそれを発信することができること。 ⑤伊勢を深く知ることで、伊勢への愛着が醸成され、本学存在の意義を共有できること。 <p>本会は、伊勢市の歴史・文化を学び、過去と現在の比較から、未来に向けた町のありかたや私たちの暮らしの幸せを実感できる町づくりを考えることを目的としている。</p> <p>【活動内容】</p> <p>本会は、平成24年4月よりスタートさせたもので、本学教職員・学生、神宮職員、一般市民から構成される自主勉強グループである。活動の一環として、明治維新以降、さまざまな点で大きく変容している伊勢の町が、どのような町であったのかを振り返り、理解するうえで参考となる松木時彦（元神宮禰宜）著『神都百物語』を取り上げ、本書をテキストとして輪読を行い、さまざまな知識を寄せることで一層の理解を深める機会としている。</p> <p>【計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①定期的勉強会の開催。（平成25年6月現在で第16回実施） ②勉強成果の取りまとめと年報類の編集刊行。 ③学生会員の更なる拡大（現在5名）。 ④将来における野外巡検の準備。 <p>【期待される成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①勉強会を通し本学メンバー、神宮職員、市民が新たな交流の機会を創出できること。 ②勉強会を通して知りえた情報を共有し、更なる伊勢発見の契機となること。 ③本学が目指す、地域との交流を具体的に展開できること。 ④伊勢を他者に語る知識を蓄えそれを発信することができること。 ⑤伊勢を深く知ることで、伊勢への愛着が醸成され、本学存在の意義を共有できること。
活動内容 と 実績・成果	<p>活動内容</p> <p>平成26年度は次の活動を行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①定期的な勉強会実施（平成13年4月 - 14年3月：全10回） ②ホームページの開設 <p>実績・成果</p> <ol style="list-style-type: none"> ①勉強会を通し本学メンバー、神宮職員、市民がさまざまな交流の機会を創出できたこと。 ②勉強会を通して知りえた情報を共有し、更なる伊勢発見の契機となった。（新出資料の持ち寄りなど） ③本学が目指す、地域との交流を具体的に展開できた。（学生・教職員・神宮職員・市民

項目名	内 容
	<p>の参加と会員が多彩である)。 ④伊勢を他者に語る知識を蓄えそれを発信することができたこと。(ホームページの開設：但し現在は管理上、会員に公開を限定している) ⑤伊勢を深く知り伊勢への愛着が醸成され、本学存在の意義を共有できたこと。</p>
参加者	<p>申請者も含めて、氏名、所属(部局、職名)を明記してください。</p> <p>代表：齋藤平(皇學館大学文学部)、幹事役：櫻井治男(皇學館大学文学部)・窪寺恭秀(神宮文庫)・藺田守訓(伊勢郷土会)。現在の登録会員は本学教職員・学生(5名)・神宮関係者・一般市民合せて42名。</p>
今後の活動	<p>①勉強会の開催(年間10回程度) ②フィールドワークの実施。(平成25年度は神宮式年遷宮が斎行され、神宮職員の参加がかなり制限された)。 ③ホーム・ページの充実。</p>
記録	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

平成25年度皇學館おかげキャンパスプロジェクト報告書

教員名：櫻井治男・板井正斉

分野：歴史・伝統文化・異文化、こども・子育て・教育・生涯、健康・福祉、地域づくり・公共・環境、人材育成等の活動、連携協定に基づく事業（ ）、その他（ ）

項目名	内 容
計画名	伊勢の「お白石持行事」調査
実施期間	平成25年 6月 26日(水) ~ 平成26年 2月7日(金)
活動の目的と計画	平成25年10月に伊勢神宮の第62回式年遷宮「遷御」儀が斎行される。本儀に先立ち、7月～8月にかけて、伊勢市民が中心となり行われる「お白石持行事」について、本学教員と学生とが、伊勢市内の出版社「伊勢文化舎」と協働で本行事の調査取材を実施し、その成果を冊子としてまとめるとともに、蓄積データをもとに勉強会やイベントを開催し、本行事の将来への継承意識を高め、伊勢の伝統文化の啓発に寄与することを目的とした。行事の期間中、随時各団への聞き書き調査を行うとともに、5回の勉強会を開催し、調査団の成果を書物とするとともに、本学学生への行事参加意識アンケート等を実施する。
活動内容 と 実績・成果	活動内容 ①お白石持行事の調査（対象となる奉獻団数：内宮19団・外宮58団） ②「お白石持行事」に関する出版物の刊行（伊勢文化舎刊） ③伊勢の伝統的な民俗行事の情報発信、啓発。 ④本学学生と伊勢市民との交流促進。
	実績・成果 ①『伊勢のお白石持』（全208頁、平成25年11月、伊勢文化舎刊）のなかで、「お白石持ち行事事典」の原稿作成に協力した。 ②調査団の発会にあたっては各紙に紹介され、大学と地域との連携行事であることの広報につとめた。 ③『神社新報』（平成26年03月17日号）に 【新刊紹介】伊勢文化舎編『伊勢のお白石持 町衆の心と技を伝える』として紹介された。
参加者	申請者も含めて、氏名、所属（部局、職名）を明記してください。 櫻井治男（文学部神道学科）。現在、「皇學館大学『お白石持行事』調査団」を結成し、団長（櫻井治男）・副団長（中村賢一・伊勢文化舎）・顧問（板井正斉・八幡崇経）・事務局（橋本義男・伊勢文化舎）・団員（院生4名・学部生4名）の構成メンバーで進めた。
今後の活動	平成26年度は、次の3点で活動を行う計画であり、継続して支援を希望する。 ①本学在学生の「お白石持ち行事」への意識調査を教育開発センターの協力を得て行う（3月卒業生へは実施済。新1年～4年は4月実施）。 ②『お白石持ち行事調査報告書（仮題）』の刊行（10月予定） ③お白石持ち行事に関する勉強会の開催（5回程度） ④何らかの形での成果発表会としての催しを行う。
記録	  <p>意見交換会</p>

平成25年度皇學館おかげキャンパスプロジェクト報告書

教員名：岡野 裕行
分野：地域づくり・公共・環境

項目名	内 容																				
計画名	ビブリオバトルを活用したしんみち商店街の活性化																				
実施期間	平成25年11月17日（日）																				
活動の目的と計画	<p>目的</p> <p>①ビブリオバトルを商店街主催のイベントに取り上げ、商店街への集客を目指す。 ②しんみち商店街の書店とコラボレーションし、ビブリオバトルで紹介された本の特別フェアを実施してもらう。 ③学生と商店街の人たちとの交流の場をつくる。</p> <p>計画</p> <p>①11月17日（日）に、しんみち商店街でのビブリオバトル大会「伊勢しんみち商店街ビブリオバトル」を行う。 ②大会は「学生部門」「商店街部門」「一般部門」に分けて実施する。 ③当日のイベント運営に際して、本学ビブリオバトルサークル「ビブロフィリア」が協力する。 ④イベント終了後に懇親会の場を設け、学生たちと参加した商店街の人たちとの交流を図る。</p>																				
活動内容 と 実績・成果	<p>活動内容</p> <p>①商店街を舞台にビブリオバトル大会を実施する。 ②ビブリオバトルを通じて商店街の人たちと交流を持つ。</p> <p>実績・成果</p> <p>①伊勢の街に本を通じた交流の場が生まれる。 ②学生たちをはじめ、地元の人たちがしんみち商店街に足を向けるためのきっかけになる。</p>																				
参加者	<p>申請者も含めて、氏名、所属（部局、職名）を明記してください。</p> <table border="0"> <tr> <td>①岡野 裕行</td> <td>文学部国文学科助教（代表者）</td> <td>②奥野 実希</td> <td>文学部国文学科4年</td> </tr> <tr> <td>③加藤 優</td> <td>文学部国文学科4年</td> <td>④進士 聖</td> <td>文学部国文学科4年</td> </tr> <tr> <td>⑤下村 有那</td> <td>文学部国文学科3年</td> <td>⑥中西 優樹</td> <td>文学部国文学科3年</td> </tr> <tr> <td>⑦山下あさみ</td> <td>文学部国文学科3年</td> <td>⑧砂原 大祐</td> <td>文学部国史学科3年</td> </tr> <tr> <td>⑨浦口 悠</td> <td>文学部国文学科1年</td> <td>⑩相賀 仁至</td> <td>文学部国史学科1年</td> </tr> </table>	①岡野 裕行	文学部国文学科助教（代表者）	②奥野 実希	文学部国文学科4年	③加藤 優	文学部国文学科4年	④進士 聖	文学部国文学科4年	⑤下村 有那	文学部国文学科3年	⑥中西 優樹	文学部国文学科3年	⑦山下あさみ	文学部国文学科3年	⑧砂原 大祐	文学部国史学科3年	⑨浦口 悠	文学部国文学科1年	⑩相賀 仁至	文学部国史学科1年
①岡野 裕行	文学部国文学科助教（代表者）	②奥野 実希	文学部国文学科4年																		
③加藤 優	文学部国文学科4年	④進士 聖	文学部国文学科4年																		
⑤下村 有那	文学部国文学科3年	⑥中西 優樹	文学部国文学科3年																		
⑦山下あさみ	文学部国文学科3年	⑧砂原 大祐	文学部国史学科3年																		
⑨浦口 悠	文学部国文学科1年	⑩相賀 仁至	文学部国史学科1年																		
今後の活動	<p>次回開催時期は未定だが、しんみち商店街の恒例のイベントとすることを相互に確認した。</p>																				
記録																					